

指導員(教育課)

## 渡邊 みき

7月28日、団員17人、引率者3人がそれぞれの期待と不安を持ちながら小野町を出発しました。

長旅を経てグレンロック町に到着した団員は、疲れも見せず歓迎会に参加しました。表情は少しこわばりながらも、ホームステイの家族とコミュニケーションを取ろうと笑顔で対応していました。

8日間という短い期間でありながら、本当の家族のように接していただいたホストファミリーの方々に団員も心強かったと思います。

研修も各自が立てた目標に向かい意欲的に活動し、日に日に成長を見せる団員に感動した場面もありました。

今後はサマーキャンプの体験を生かしながら、何事にも積極的に取り組んでほしいと思います。



ホストファミリーと(左)

指導員(小野中教諭)

## 古川 理

美しい街並みのグレンロック、世界一の大都市ニューヨーク、大自然に囲まれたヒルトップキャンプ場。そのような素晴らしい環境の中で生徒たちは多くのことを感じ、そして多くのことを学ぶことができました。

ホームステイでは、英語がほとんど通じない中でも熱心にコミュニケーションを図り、アメリカの家庭生活を存分に味わうことができました。

ニューヨークでは、自由の女神や自然史博物館の大きさ、ブロードウェイやタイムズスクエアの華やかさに圧倒され、今までにない大きな刺激を受けました。キャンプ場では、壁登りや空中ブランコなど、さまざまな難しいアクティビティに取り組み、それらをクリアできた時、大きな喜びと達成感を味わうことができました。

英語力の向上、異文化理解のほか、自分で率先して行動することの大切さを学んだ充実した12日間でした。



消防署での体験

団長(教育課副課長)

## 荻野 治美

平成26年度第22回「サマーキャンプ中学生の翼」は団員17人、引率者3人により、アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町で8日間のホームステイ、ニューヨーク州ハンコック町のヒルトップキャンプ場で4日間のキャンプステイを行い、各団員が掲げた目標達成のため、旺盛なチャレンジ精神を十二分に発揮し、大きな成果を胸に8月8日、全員無事帰国しました。

この事業は、次代を担う中学生を海外に派遣し国際理解を深め、ホームステイやキャンプステイなどを実体験することにより、英語力の向上、より広い視野と豊かな国際感覚をもった人材育成を図ることを目的とした事業です。

言葉は違えど、国は違えど心は通じる。友情や愛情に国境はないことなど、団員たちは12日間のさまざまな体験を通じて今後の人生に大きな影響を与える素晴らしい経験ができたものと思います。

グレンロック町の皆さん、ヒルトップキャンプ場の皆さん、そして関係するすべての方々に感謝を申し上げ、報告の言葉とさせていただきます。



グレンロック町長と(右)